新企画

WiSEが賞金100万円のバンコク起業コンテスト

タイ・バンコクを拠点に、東南アジア最大の発行部数を誇る日本語媒体『週刊ワイズ（weekly WiSE）』など手がけるライディーン（本社：バンコク。西岡良樹CEO）は、タイ人の訪日インバウンドとタイ進出支援を主事業とするグループ企業「株式会社APー（エイ・ピー・アイ）を日本法人として設立（本社・中央区）。これを記念してアジア地域での女性活躍支援を目的とした「第1回WiSE Woman『バンコク起業』ビジネスプランコンテストを企画。

ASEANで企業人として羽ばたこうとする、チャレンジ精神旺盛な日本人女性をサポートするのが狙い。条件は、①2018年3月までにバンコクで起業または事業進出できる日本人女性 ②大小問わず現実的な事業で、女性の視点から考えた、皆が喜ぶ事業、の2点。我こそはと思う大和撫子は、（http://wisewomanbk.com）にアクセス、所定の登録を済ませた後、その熱い思いを3分の動画にまとめ、スマホで送信してノミネート。〆切は今年11月3日。優勝者には100万円の賞金と、最大100万円の出資が得られる。

ワイズの起業応援企画

コラボ

Wargamingがロシアの VR開発会社とパートナシップ締結

1億1000万人のユーザーを擁する、世界最大級のネット・オンラインゲーム「World of Tanks」などを運営するWargaming（ウォーゲーミング。本社・ベラルーシ・ミンスク。ビクター・キスリーCEO）は、ロシア・モスクワに本拠を構えるVR（仮想現実）開発会社、VRTechと業務提携を締結。

VRTechは仮想現実技術に秀でた企業で、映画館で再現するシネナVRやゲーム制作で使用するポリゴンVRといったサービスを2016年から展開、すでにロシア国内の映画館、ショッピングモールでサービスを提供する。Wargaming側はこの技術力の高さに着目、今後VRをキーワードにしたインタラクティブなソリューションを提供していくものと見られる。

提携

三菱総研とNextremer がAI対話システムで業務・資本提携

三菱総合研究所（MRI。本社・千代田区。森崎孝社長）とNextremer（本社・板橋区、向井永浩CEO）は、9月4日、人工知能（AI）対話システムに深層学習を用いる共同研究と、これを活用した連携事業の展開を目的とした業務・資本提携を締結。

AIが産業・社会の各分野でデジタル化の中核技術となる中、AIを用いて人とコンピューターとの自然な対話を可能にする対話システムが急速に耳目を集めている。

特に、AI対話システムの1つ、「チャットボット」は、スマホなどを通じて音声やテキストで簡易に操作し、情報のやりとりやサービス対応を行なうもので、問い合わせ応答や購買・決済支援、オフィス内業務支援など幅広い分野での利用が有望視されている。

これらを背景に、両社はAI対話システムの共同研究の実施と、AI対話システムの活用で社会課題の解決を図る連携事業の展開に合意。

具体的には、

① 深層学習を用いた「ニューラル対話モデル」における雑談応答技術およびユーザー情報抽出技術の実用化に関する共同研究

② NextremerのAI対話システム開発環境をMRIが活用し、企業の業務支援など対話力を活かした先進サービスの開発

の二本柱だ。

10月から共同研究をスタート、2018年中にMRIはNextremerの開発環境を活用してAI対話システムのサービスを開発する予定。